

ねんりんピック富山2018 俳句交流大会 当日句入賞句一覧

平成30年11月4日

大会会長特賞

初嶋に湖広すぎる青すぎる

和歌山県 桑島 啓司

選者特選賞

坊城 俊樹 選

胡桃落つ眠りはじめるダム

富山県 寺田 恭子

駒形 隼男 選

紅葉の切り岸縫うて汽笛過ぐ

福井県 村田 大志

鈴木 しどみ 選

胡桃落つ眠りはじめるダムの底

富山県 寺田 恭子

高野 ムツオ 選

しみじみと杖つく平和草もみじ

東京都 増山 敏夫

伊藤 政美 選

紅葉晴ごつんと止まる山のバス

富山県 二俣 れい子

清水 道径 選

峡深し早瀬が醸す秋の声

富山県 北川 越草

西山 睦 選

出力の日本一のななかまど

富山県 五箇 洋子

佐怒賀 直美 選

秋嶽や散居の杉のくろぐると

新潟県 清水 道径

石工 冬青 選

山幾重紅葉幾重のダムの湖

富山県 浜田 律子

但田 長穂 選

遠山に雪の来ている足湯かな

富山県 森 純子

白井 重之 選

枯野駅玩具のやうな電車着く

和歌山県 本多 邁

森野 稔 選

足湯てふ峡の止り木神の旅

富山県 坪川 正

片桐 久恵 選

一日を紅葉の中にホ句の旅

富山県 田中 憲子

田上 眞知子 選

初嶋に湖広すぎる青すぎる

和歌山県 桑島 啓司

八尾 とおる 選

湯の町のねんりんピック秋高し

富山県 西野 睦子

浅野 義信 選

湖底より深秋の声遠からず

富山県 道用 紀子

正賞

坊城 俊樹 選

トロッコの汽笛でこたへ峡紅葉

石川県 本谷 眞治郎

駒形 隼男 選

湯の谿に異国の秋を拾ひけり

富山県 山本 正子

鈴木 しどみ 選

余り湯を滝のごとくに紅葉谷

和歌山県 手拝 裕任

高野 ムツオ 選

放屁虫と日向分け合ふ山の宿

富山県 成重 佐伊子

伊藤 政美 選

紅葉谷人声のよくひびきけり

富山県 森川 敬三

清水 道径 選

初嶋に湖広すぎる青すぎる

和歌山県 桑島 啓司

西山 睦 選

越冬の物資積まるる始発駅

富山県 大久保 置箔

佐怒賀 直美 選

傘松の幹の流線秋日降る

富山県 三雲 繪里子

石工 冬青 選

秋深し開湯仏の百年の眼

富山県 荒井 君代

但田 長穂 選

眺め込む百の眼百の紅葉山

富山県 尾山 勢都子

白井 重之 選

初嶋に湖広すぎる青すぎる

和歌山県 桑島 啓司

森野 稔 選

よく語る木まつさきに黄葉する

岐阜県 名和 永山

片桐 久恵 選

トンネルや入るも出づるも紅葉山

富山県 山下 正江

田上 眞知子 選

遠く来て一期一会の峡紅葉

富山県 大塚 紀夫

八尾 とおる 選

宇奈月のブロンズ像にある秋思

神奈川県 尾崎 竹詩

浅野 義信 選

飛火して黄葉が紅葉追ふ秘境

石川県 村上 秀吾

准賞

坊城 俊樹 選

秋嶽や散居の杉のくろぐると

新潟県 清水 道径

駒形 隼男 選

遠く来て一期一会の峡紅葉

富山県 大塚 紀夫

鈴木 しどみ 選

放屁虫と日向分け合ふ山の宿

富山県 成重 佐伊子

高野 ムツオ 選

行く秋の足湯にまぎる国つ神

富山県 久田 美智子

伊藤 政美 選

落葉踏みいて新調の靴馴染む

新潟県 猪又 秀子

清水 道径 選

恐竜のできさうなる秋の湖

富山県 島田 おたか

西山 睦 選

湖に向き翼をたたむ鷹一羽

富山県 石黒 順子

佐怒賀 直美 選

大ぶりの黒部の木の実降りにけり

富山県 中坪 達哉

石工 冬青 選

トロッコ電車トンネルを出て冬に入る

富山県 中尾 三久

但田 長穂 選

紅葉抜け紅葉に入りて山電車

富山県 浅野 喜代美

白井 重之 選

鳴鳴きて庭石の亀空仰ぐ

富山県 吉本 敏子

森野 稔 選

秋ふかし玻璃戸はねじを回す鍵

富山県 下野 榮子

片桐 久恵 選

トロッコと手を振り合うて秋惜しむ

富山県 新村 美那子

田上 眞知子 選

触れてみる出湯の噴水冬隣り

富山県 北尾 久子

八尾 とおる 選

紅葉のなだれにダム湖色変へず

和歌山県 桑島 啓司

浅野 義信 選

亀石も歩みそうなる秋日和

富山県 林 紀男

※入賞句一覧につきましては、パソコンで表示できない漢字は常用漢字を使用しております。ご了承ください。

坊城 俊樹 選

濃りんどう黒部は水の韻きあり  
女神像の遠き眼差し紅葉谿  
黒部川の蒼き水音溪紅葉  
山霊の棲むところより黄葉す  
猿も枯色黒部龍胆いろとどめ  
通し鴨赤き鉄橋くぐりけり  
秋蝶や海の匂ひのかまぼこ屋

富山県 高城 玲子  
富山県 度山 紀子  
富山県 山西 澄子  
岐阜県 名和 永山  
長野県 宮坂 静生  
富山県 宮崎 あつ子  
富山県 酒井 美和子

駒形 隼男 選

秋深し足湯で話す国訛り  
湯けむりの直ぐにとけ込む空小春  
峡谷に秋冷至る黒部かな  
初鴨に湖広すぎる青すぎる  
小春日や黒部の風に出会ふ旅  
紅葉をふたつに裁ちて黒部峡  
雪の立山青空に冴え迫り来る

富山県 有澤 嘉晃  
富山県 野村 邦翠  
富山県 今井 淳良  
和歌山県 桑島 啓司  
石川県 村本 寿美枝  
富山県 高田 実  
富山県 亀田 なみ子

鈴木 しどみ 選

水底の碧の深まり秋惜しむ  
湖に向き翼をたたむ鷹一羽  
宇奈月のブロンズ像にある秋思  
しみじみと杖つく平和草もみじ  
軽がつた生命一兵の遠き秋  
宇奈月の色なき風と塩むすび  
石の橋踏めばごとりと冬に入る

富山県 亀谷 正恵  
富山県 石黒 順子  
富山県 尾崎 竹詩  
東京都 増山 敏夫  
富山県 新保 吉章  
静岡県 青柳 八風  
三重県 伊藤 政美

高野 ムツオ 選

雲湧いて仙人愉しも峡の秋  
真つ先に猫又山は雪を被て  
バス降りてはや団栗を踏みさうに  
遠山に雪の来ている足湯かな  
山霊の棲むところより黄葉す  
神還へり足湯しづかに混み合へり  
初鴨のまだばらばらに浮いてをり

富山県 山下 正江  
富山県 野中 多佳子  
富山県 漁 俊久  
富山県 森 純子  
岐阜県 名和 永山  
富山県 小竹 嘉子  
三重県 伊藤 政美

伊藤 政美 選

逃げやすき山の日差しに小豆干す  
しみじみと杖つく平和草もみじ  
本流へ紅葉筏を組み直し  
川音に一日の暮し峡の秋  
遠山に雪の来ている足湯かな  
ふつと息かかる高さに綿虫来  
羚羊の跳ぶと云ふ山秋深し

富山県 四十物 敦子  
東京都 増山 敏夫  
石川県 蔵 堯子  
富山県 あらた あきら  
富山県 森 純子  
富山県 久保 美智子  
富山県 石川 彰子

清水 道徳 選

温泉の噴水穂を高くして神迎ふ  
濃りんどう黒部は水の韻きあり  
老松の天蓋秋の松桜閣  
秋天やダム湖に野猿注意札  
秋声を聞かんと湖畔めぐりみし  
峡の空広げて紅葉迫り来る  
石の橋踏めばごとりと冬に入る

富山県 成重 佐伊子  
富山県 高城 玲子  
富山県 寺島 皎  
富山県 土田 由朗  
富山県 菅野 桂子  
石川県 森田 康夫  
三重県 伊藤 政美

西山 睦 選

大ぶりの黒部の木の実降りにけり  
秋日ざし確かに刻む排砂痕  
紅葉山地下に太陽発電所  
真つ先に猫又山は雪を被て  
温泉場歩くに秋思おさまらず  
紅葉山隧道昏く抱きをり  
母の手のあまりに小さく冷えており

富山県 中坪 達哉  
富山県 吉田 允  
富山県 大田 保文  
富山県 野中 多佳子  
富山県 大倉 寿恵  
富山県 岩倉 ハル子  
富山県 近藤 正純

佐怒賀 直美 選

倒木を眠らす紅葉且つ散れり  
逃げやすき山の日差しに小豆干す  
紅葉晴ごつんと止まる山のバス  
晩秋の山彦橋で擦れちがふ  
初鴨に湖広すぎる青すぎる  
行く秋の足湯にまぎる国つ神  
黒部川氾濫の地や櫓伸ぶ

富山県 青木 恭子  
富山県 四十物 敦子  
富山県 二俣 れい子  
富山県 明官 雅子  
和歌山県 桑島 啓司  
富山県 久田 美智子  
新潟県 保坂 季泉

石工 冬青 選

大玻璃の霧の底より黒部川  
トロツコの七曲して紅葉峡  
錦木や峡分け入れば猿の橋  
出力の日本一のななかまど  
紅葉のなだれにダム湖色変へず  
鳴鳴きて庭石の亀空仰ぐ  
水尾ひいて鴨ら光りの粒となる

富山県 青木 恭子  
富山県 但田 長穂  
富山県 杉田 富夫  
富山県 五箇 洋子  
和歌山県 桑島 啓司  
富山県 吉本 敏子  
富山県 漁 俊久

但田 長穂 選

胡桃落つ眠りは始めるダムの底  
余り湯を滝のごとくに紅葉谷  
紅葉狩杖ともならぬ棒を手に  
八景のもみじ且つ散る知事旧居  
観音の腰のラインを秋の風  
バス降りてはや団栗を踏みさうに  
トロツコのスイツチバツク冬に入る

富山県 寺田 恭子  
和歌山県 手押 裕任  
富山県 浅尾 京子  
富山県 今井 淳良  
富山県 山本 正子  
富山県 漁 俊久  
富山県 幹 自聲

白井 重之 選

放屁虫と日向分け合ふ山の宿  
すぐ友になれたぐるりと紅葉山  
宇奈月のブロンズ像にある秋思  
水尾ひいて鴨ら光りの粒となる  
山は錦裕次郎の黒眼鏡  
湯上りや足袋は花柄萩の花  
ふつと息かかる高さに綿虫来

富山県 成重 佐伊子  
富山県 櫻打 伸子  
神奈川県 尾崎 竹詩  
富山県 漁 俊久  
富山県 河合 彰  
富山県 林 敦子  
富山県 久保 美智子

森野 稔 選

紅葉晴ごつんと止まる山のバス  
鳴鳴きて庭石の亀空仰ぐ  
風の影湖面にしるし草さんご  
駅前足湯がゴール紅葉狩  
秋蝶や海の匂ひのかまぼこ屋  
日溜りに屯す人と亀虫と  
水脈の数昨日と違ひ鳥渡る

富山県 二俣 れい子  
富山県 吉本 敏子  
富山県 木澤 迪子  
富山県 堀切 多喜子  
富山県 酒井 美和子  
富山県 幹 自聲  
富山県 田上 眞知子

片桐 久恵 選

山幾重紅葉幾重のダムの湖  
山粧ふどの道行くも湯の匂ひ  
湯けむりや粧ふ山をとみかうみ  
トロツコ電車トンネルを出て冬に入る  
晩秋や子を負ふ猿も群れにのて  
嘩されて温泉噴水高くなる  
トロツコの声空に抜け岨紅葉

富山県 浜田 律子  
富山県 平井 弘美  
石川県 太田 硯星  
富山県 中尾 三久  
富山県 泉 幸子  
富山県 坂田 紀枝  
富山県 寺田 恭子

田上 眞知子 選

濃りんどう黒部は水の韻きあり  
紅葉狩杖ともならぬ棒を手に  
秋天やダム湖に野猿注意札  
冬越しの荷物と手紙軌道ゆく  
溪紅葉見知らぬ人と足湯して  
トンネルを抜けて歓声紅葉狩  
初鴨のまだばらばらに浮いてをり

富山県 高城 玲子  
富山県 浅尾 京子  
富山県 土田 由朗  
富山県 高田 実  
富山県 升田 義次  
富山県 亀田 なみ子  
三重県 伊藤 政美

八尾 とおる 選

爽籟や歌碑の下より水の声  
詩の道踏み行く落葉のやわらけき  
絶景や紅葉が包むセレネ館  
湯の谿に異国の秋を拾ひけり  
秋深し足湯で話す国訛り  
嘩されて温泉噴水高くなる  
バス降りてはや団栗を踏みさうに

富山県 若土 白羊  
富山県 吉田 弘和  
富山県 木下 瞳  
富山県 山本 正子  
富山県 有澤 嘉晃  
富山県 坂田 紀枝  
富山県 漁 俊久

浅野 義信 選

触れてみる出湯の噴水冬隣り  
雲湧いて仙人愉しも峡の秋  
紅葉狩杖ともならぬ棒を手に  
本流へ紅葉筏を組み直し  
遊歩道の異国語響く山もみじ  
湯の町はおとぎの国か紅葉山  
蒼天より三段紅葉黒部峡

富山県 北尾 久子  
富山県 山下 正江  
富山県 浅尾 京子  
石川県 蔵 堯子  
富山県 栃原 百合子  
富山県 五十里 眞紀  
福井県 村田 大志